

## 子育て支援・少子化対策に関する県民意識調査（抜粋）

子育て支援・少子化対策に関する県民意識、ニーズ等を調査することにより、新たな計画の策定に向けた基礎資料を得ることを目的として、平成 16, 20, 25, 30 年度及び令和 5 年度に「子育て支援・少子化対策に関する県民意識調査」を実施しました。

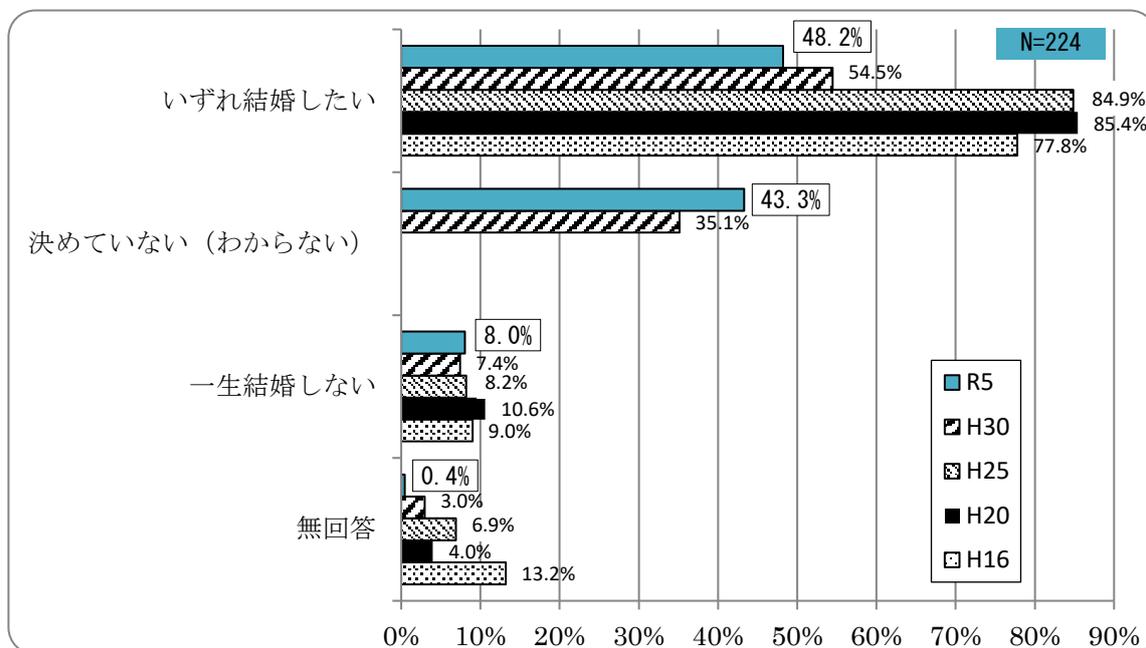
### 《調査の概要》

調査地域	山口県全域
対 象	県内に居住する 18 歳以上（※）50 歳未満の男女 ※平成 30 年度までは、20 歳以上
標 本 数	3,000 人（男女各 1,500 人）
抽出方法	住民基本台帳からの層化無作為抽出（全市町より抽出）
調査方法	郵送によるアンケート
調査時期	H16. 7. 8～7. 31、H20. 11. 17～12. 8、H25. 11. 20～12. 11、H31. 1. 10～1. 30、R5. 11. 20～12. 20
回答状況	H16（1,048 名、回収率 34.9%）、H20（1,137 名、37.9%）、 H25（1,111 名、37.0%）、H30（839 名、28.0%）、R5（718 名、23.9%）

### 【調査結果の概要】

#### 1 未婚者の生涯の結婚意思（問 10 関係）

「いずれ結婚したい」と考える未婚者の割合は 48.2%、「決めていない（わからない）」と考える未婚者の割合は 43.3%となっています。「一生結婚しない」と考える未婚者の割合は 8.0%と約 1 割程度の比率で推移しています。

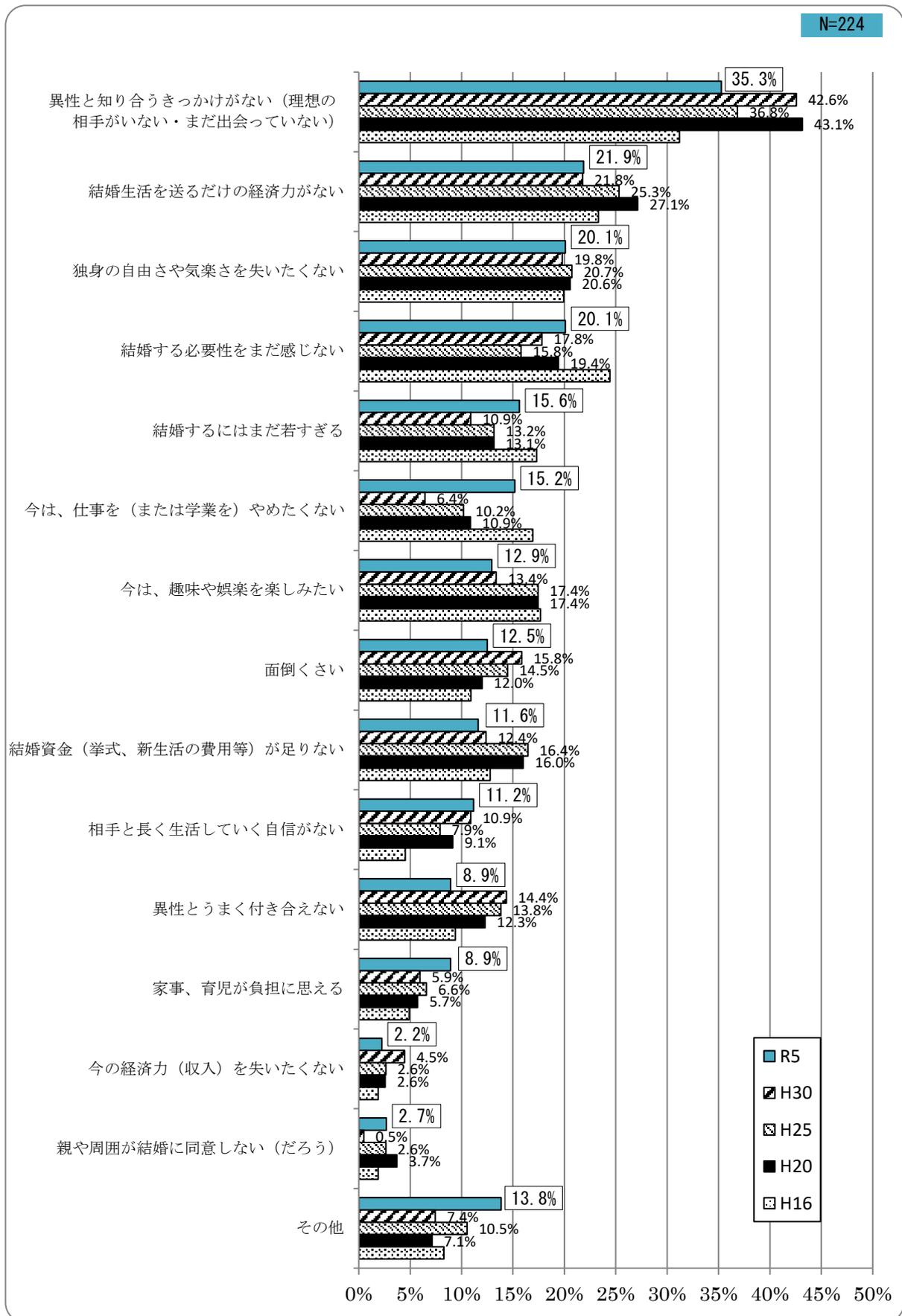


「一生結婚しない」と回答した人の結婚しない理由については、「独身の自由さや気楽さを失いたくない」「面倒くさい」「結婚する必要性をまだ感じない」「家事、育児が負担に思える」といった回答となっています。

また、結婚生活を送っていく上での不安材料については、「自分の自由時間が取れなくなる」「わからない」といった回答となっています。

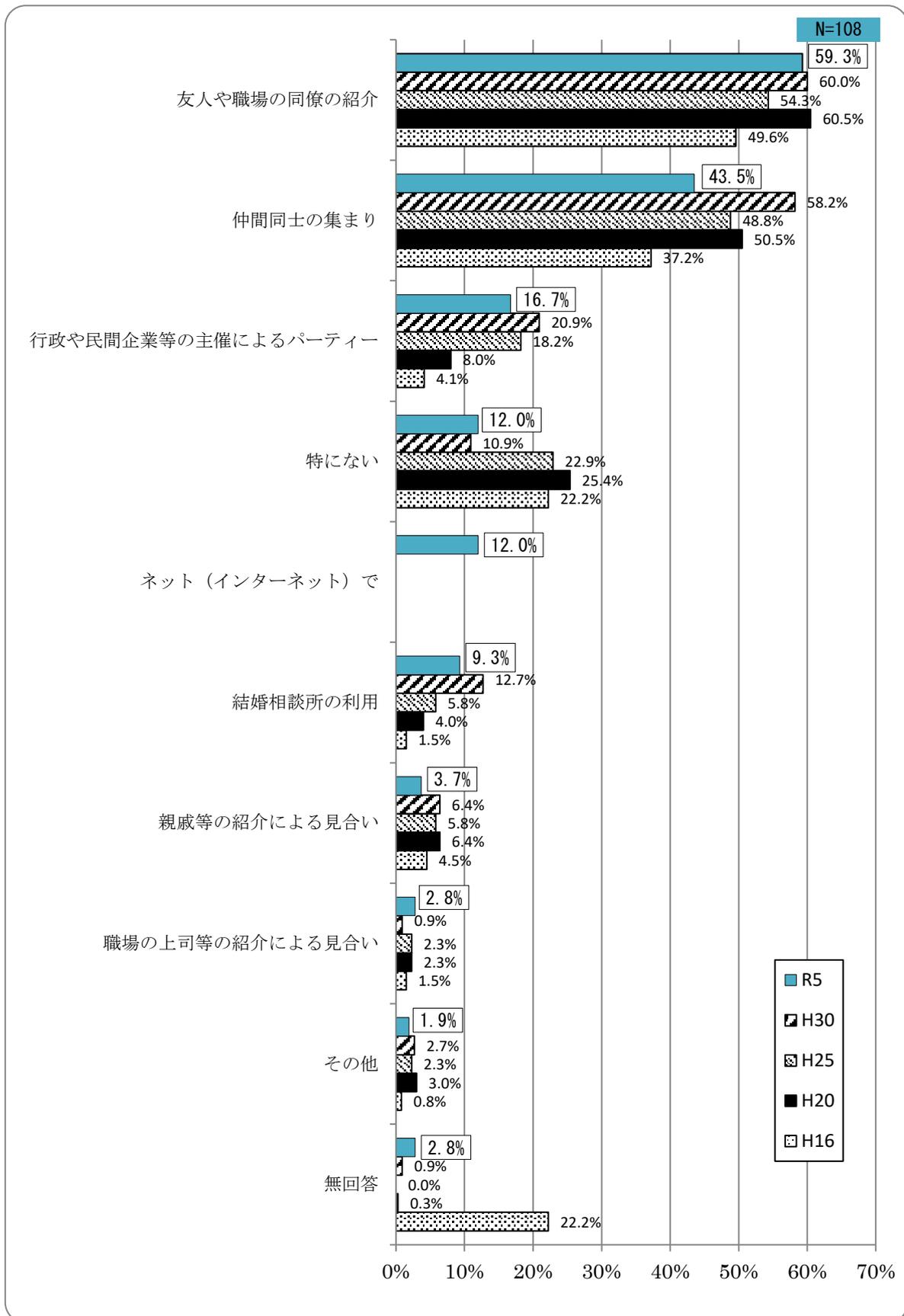
## 2 結婚しない理由（問 12 関係）

「異性と知り合うきっかけがない」が35.3%と最も多くなっており、経済力のなさや結婚の必要性を感じていないといった意見も引き続き多くなっています。



### 3 結婚相手と出会うきっかけとして望むもの（問 10-2 関係）

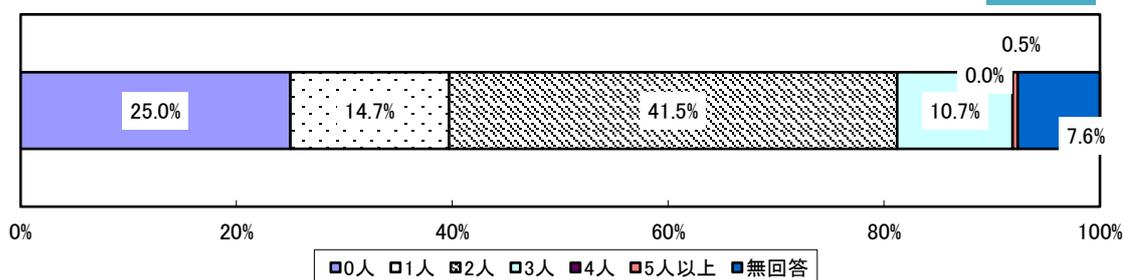
「友人や職場の同僚の紹介」が 59.3%と最も多くなっており、次いで「仲間同士の集まり」が 43.5%となっています。



#### 4 未婚者が希望する子どもの数

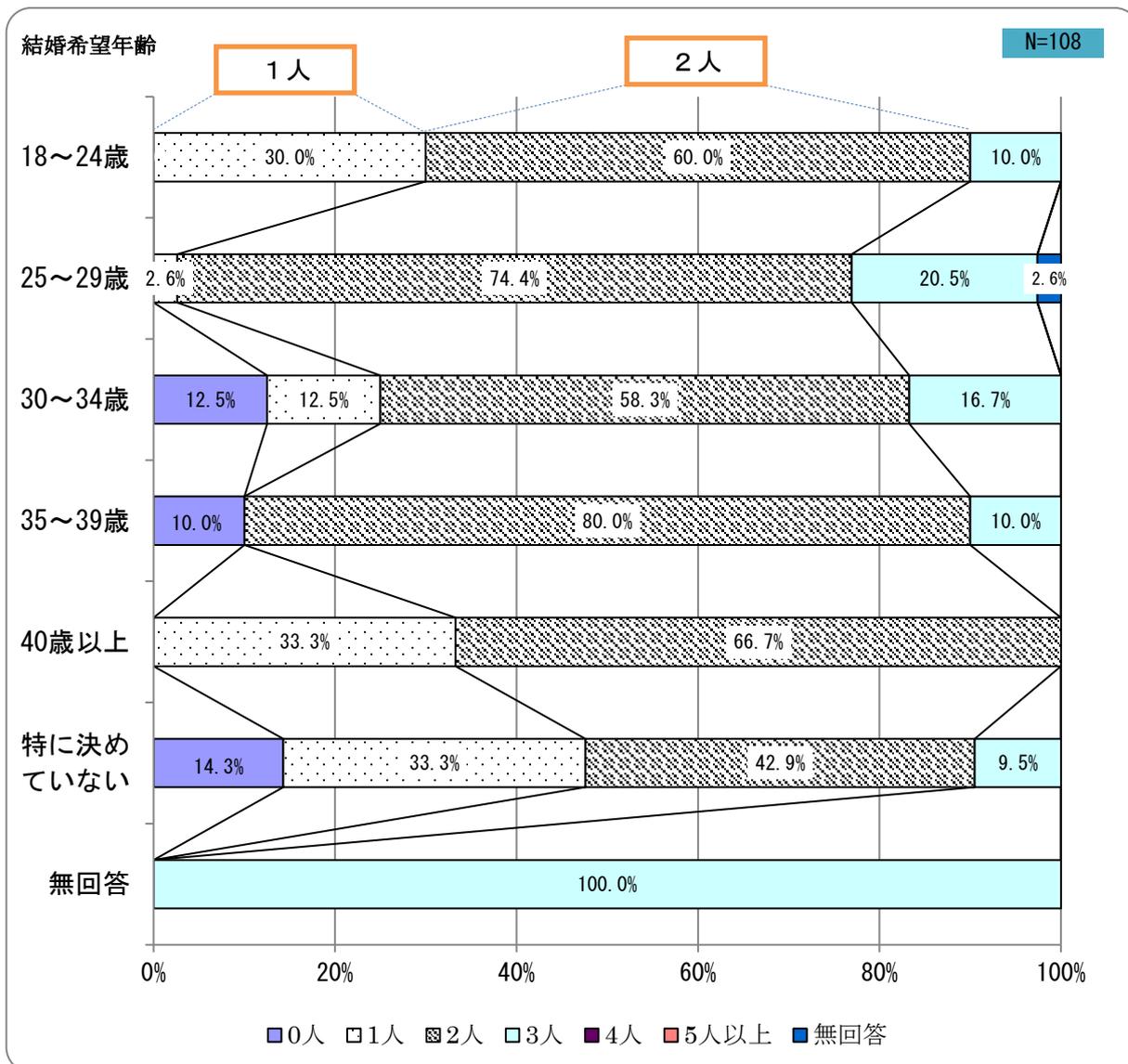
希望する子どもの数は、「2人」が最も多くなっています。

[希望する子どもの数：R5]（問 11 関係）



なお、いずれ結婚したいと回答した人（結婚を希望する年齢について回答した人）については、いずれの年齢層においても、同様の傾向が見られ、結婚の先に妊娠・出産や子育てが想定されていることがうかがえます。

[いずれ結婚したいと考えている人が希望するこどもの数：R5]

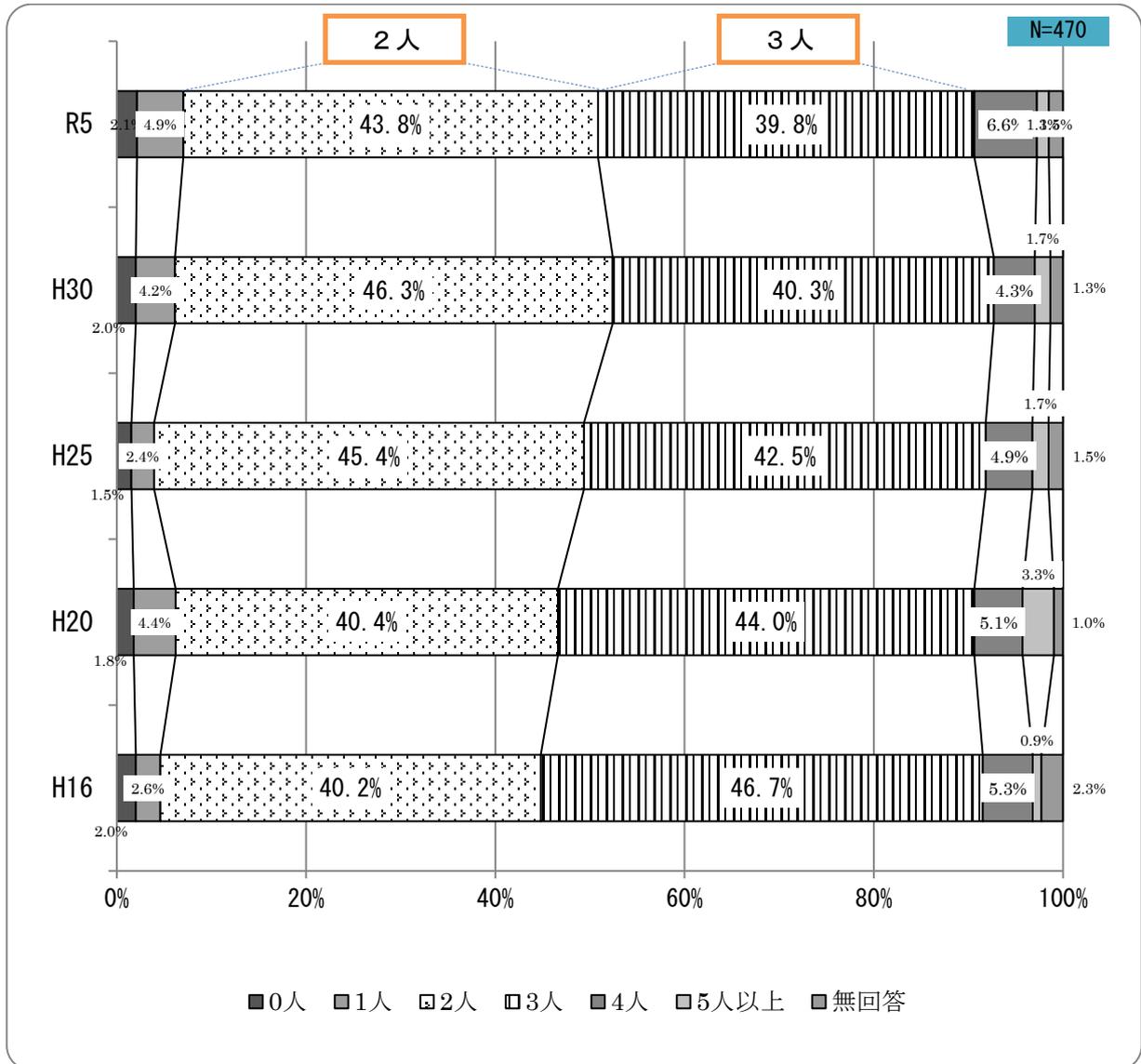


## 5 既婚者の理想の子どもの数と現在の子どもの数

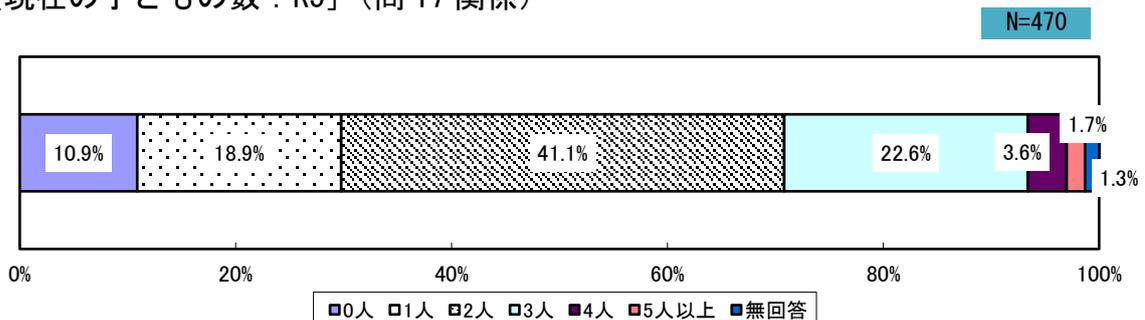
理想とする子どもの数は、H20 調査までは「3人」が最も多かったですが、H25 調査以降は「2人」が最も多くなっています。

現実の子どもの数は、「2人」が41.1%と最も多くなっています。

[理想の子どもの数] (問 19 関係)

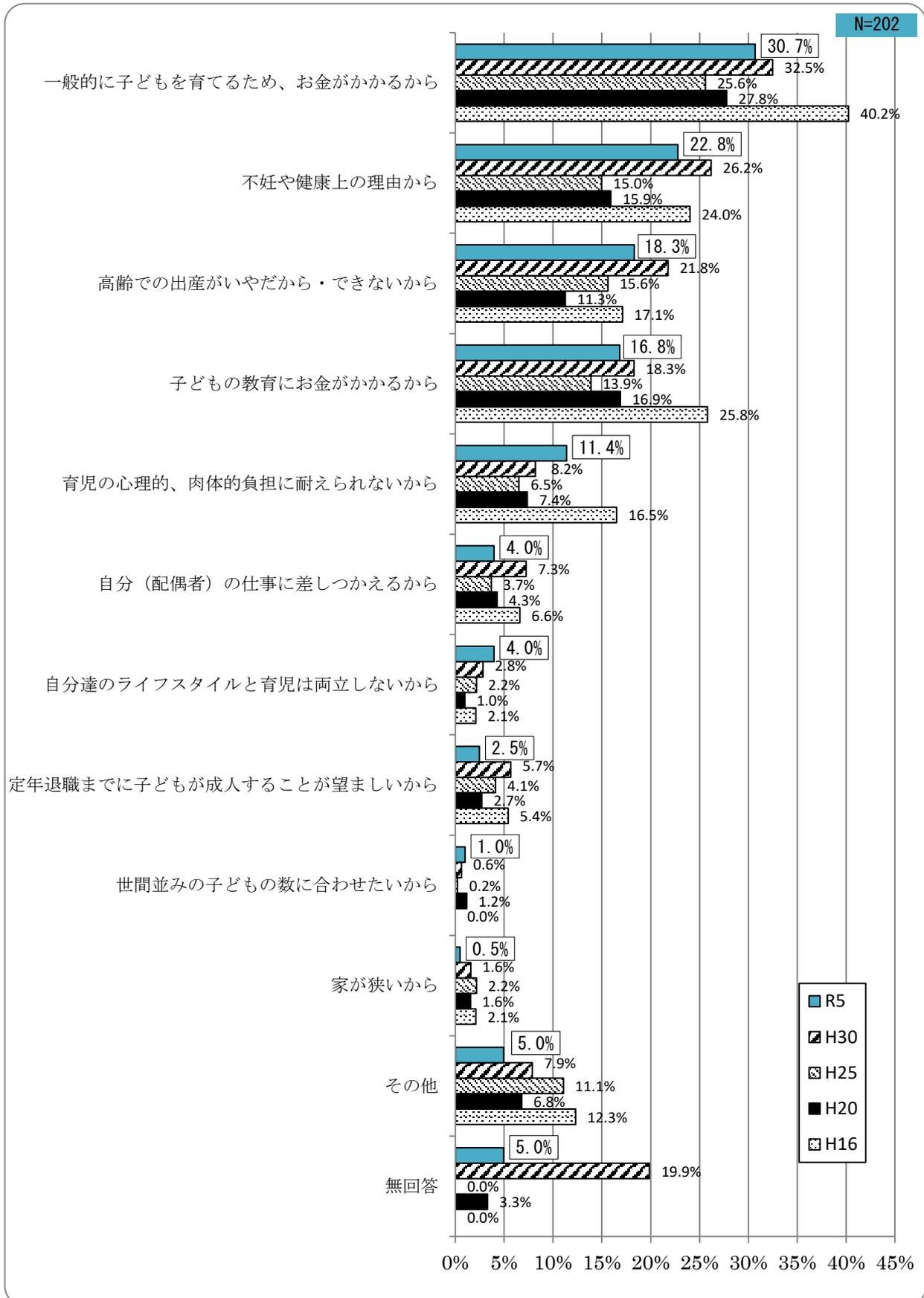


[現在の子どもの数 : R5] (問 17 関係)



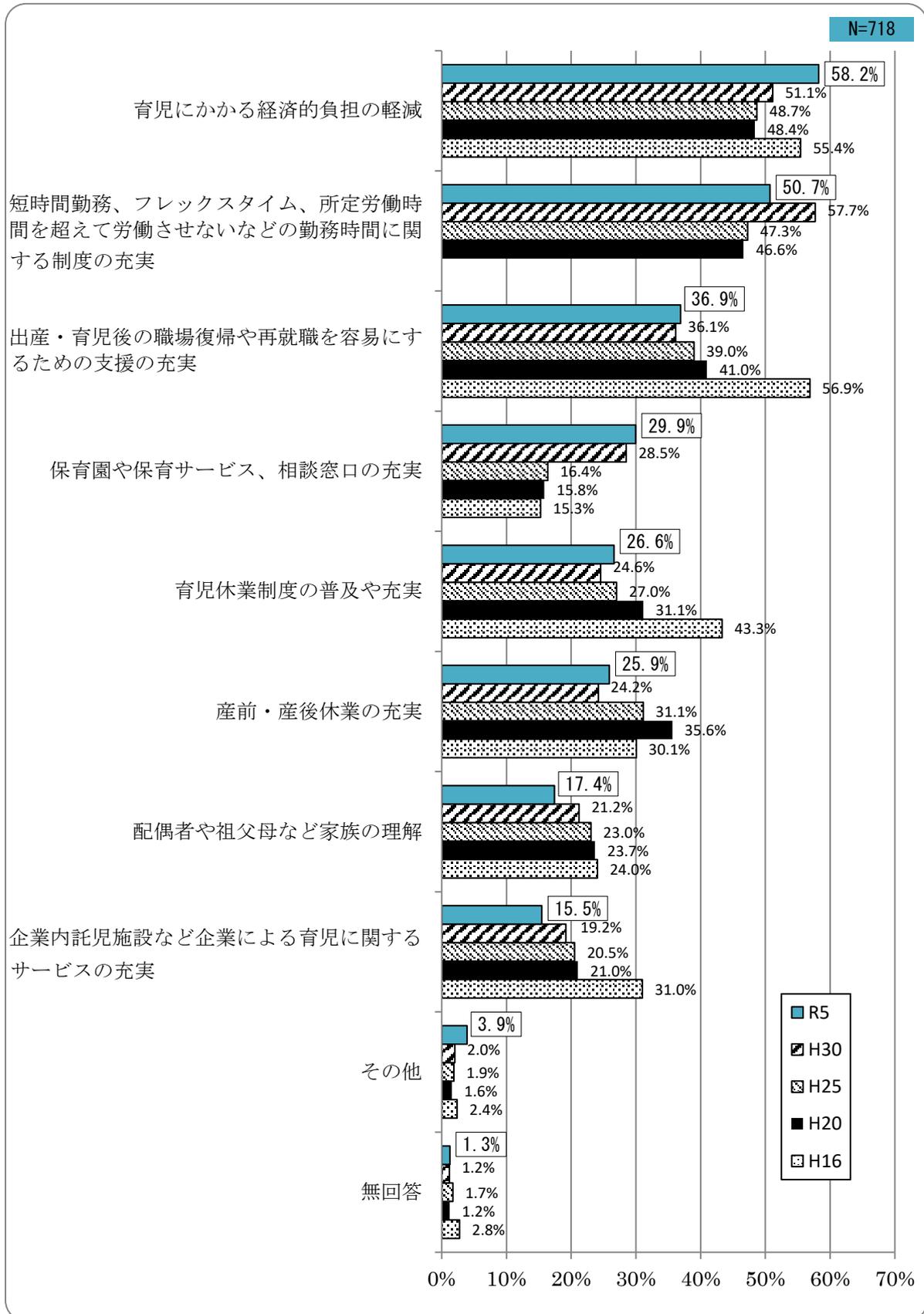
## 6 既婚者が理想とする子どもの数を持たない理由（問 20 関係）

養育費、教育費などの経済的理由や、不妊や健康上、高齢、育児負担などの身体的・心理的理由によるものが多くなっています。



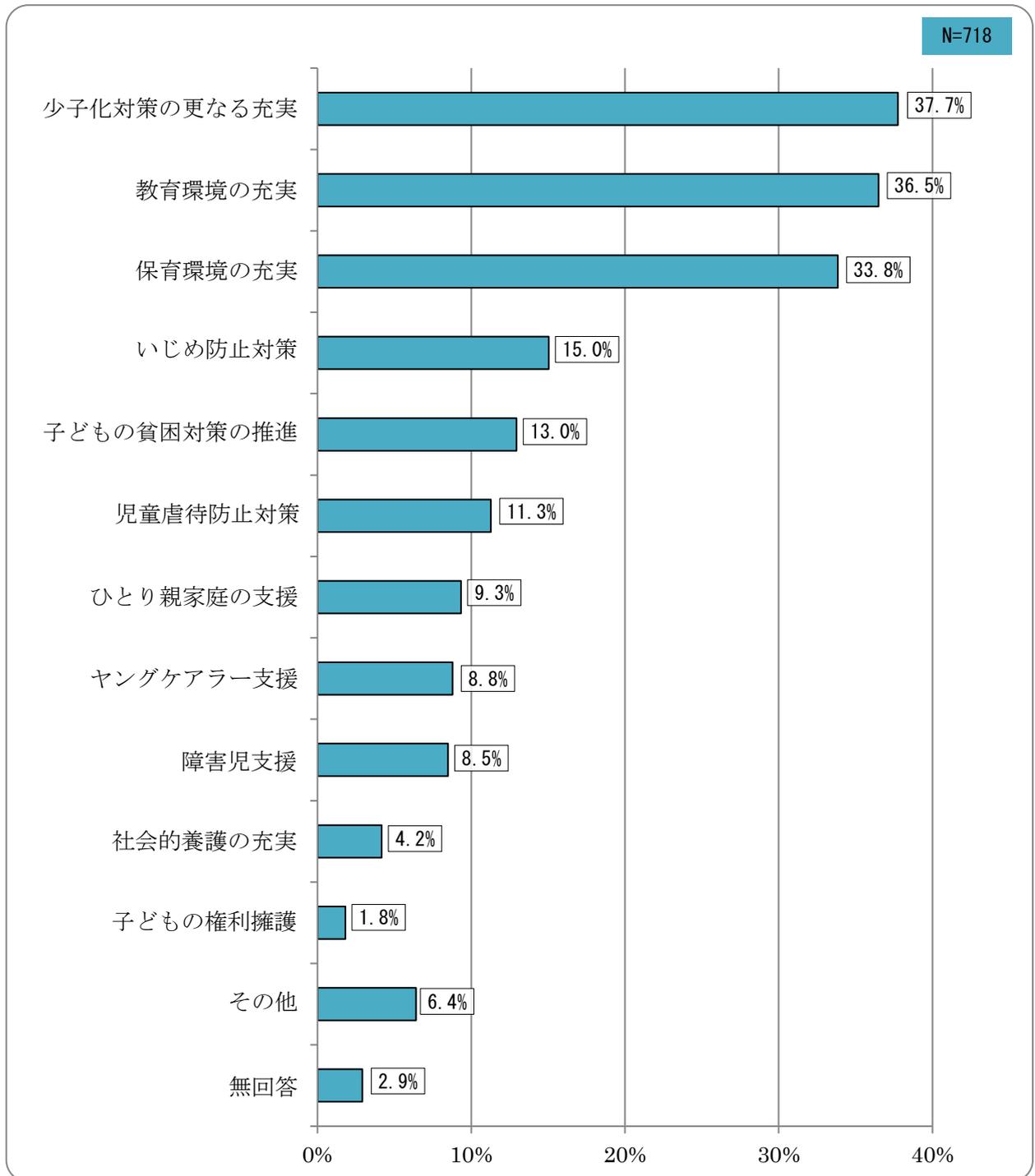
## 7 出産・育児と職業生活を両立しやすくするために必要なこと（問9 関係）

「育児にかかる経済的負担の軽減」が58.2%と最も多く、続いて「短時間勤務等の勤務時間に関する制度の充実」、「出産・育児後の職場復帰等を容易にするための支援の充実」などの順となっています。



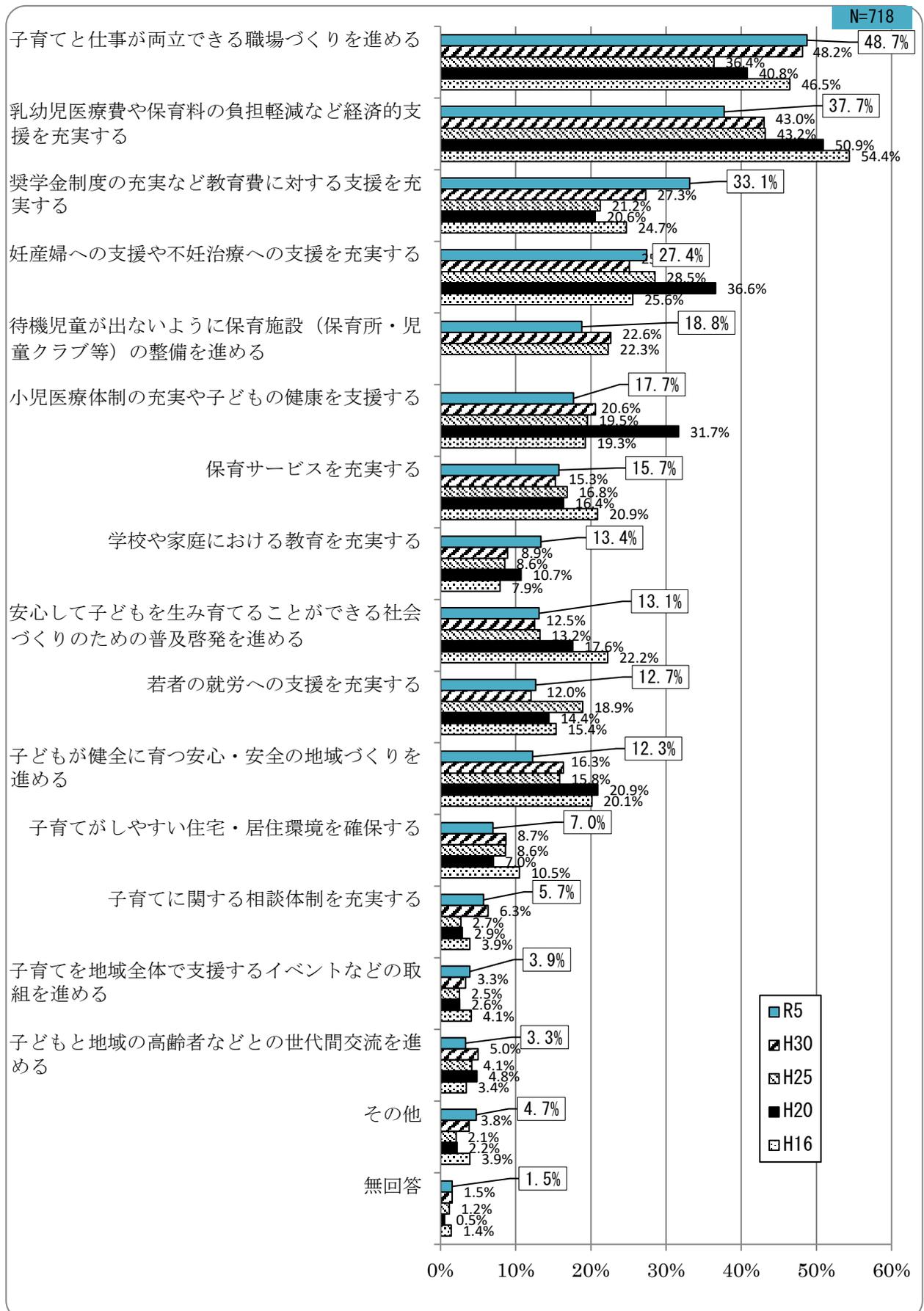
## 8 子育て支援・少子化対策を進める上で行政に期待すること（問5関係）

今後の子育て支援・少子化対策を進める上で行政に期待することについては、「少子化対策の更なる充実」が最も多く、続いて「教育環境の充実」、「保育環境の充実」、「いじめ防止対策」などの順となっています。



## 9 子育て支援・少子化対策を進める上で行政に充実してほしい施策（問6関係）

今後、行政に充実してほしい施策については、「子育てと仕事が両立できる職場づくり」が48.7%で最も多く、次いで、「乳幼児医療費や保育料の負担軽減など経済的支援の充実」、「奨学金制度の充実など教育費に対する支援の充実」などの順となっています。



## 10 子育て支援・少子化対策に関して望む取組や問題点等

子育て支援・少子化対策に関して望む取組や問題点等について自由記述で回答を求めたところ、「子育て家庭に対する経済的な支援の拡充」が29.7%で最も多く、次いで、「仕事と子育てが両立できる社会制度の確立」、「教育費の負担」、「公園や児童館などの子どもが遊べる場所の整備、増加」などの順となっています。

